

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】「光トポグラフィー検査を用いた電気けいれん療法の治療効果検証および治療効果予測に関する研究 第三期」

【研究責任者】野田 隆政

【本研究の目的及び意義】

電気けいれん療法(electroconvulsive therapy: ECT)とは、脳に電気を流し、人工的に電気活動を起こすという治療技法です。ECTは心の病気を抱えた患者さんに対して行われることが多いですが、一部の身体疾患や治療の難しい病気を抱えた患者さんにも用いられ、症状の改善や再発予防に高い効果が示されています。しかしながら、ECTがどのように作用して治療が進んでいるのか、といった点についてはわかっていない部分が多く、現在でも多くの研究が行われています。

この研究では、ECTの治療効果を脳の機能との関連から検討し、今後の治療に役立つ情報を得ることを目的としています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2021年3月24日より2026年3月31日までの間に、国立精神・神経医療研究センターで、ECT治療を実施予定の方

利用する試料・情報等

情報等：診療録(ECT治療前、治療後、治療終了半年後、治療終了1年後の年齢、性別、診断名、光トポグラフィー検査、PET検査と各種心理検査)

研究期間

2021年3月24日より2026年3月31日まで

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 病院

所属 第一精神診療部 氏名 野田 隆政

電話番号 042-341-2711(代)

e-mail:t-noda@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu@ncnp.go.jp